平成18年2月13日
交通政策審議会
第17回港湾分科会

資料4－5

神戸港港湾計画　－改訂－

神戸港港湾計画の基本方針（目標年次：平成20年代後半）

【物流】西日本のハブ港としての機能強化

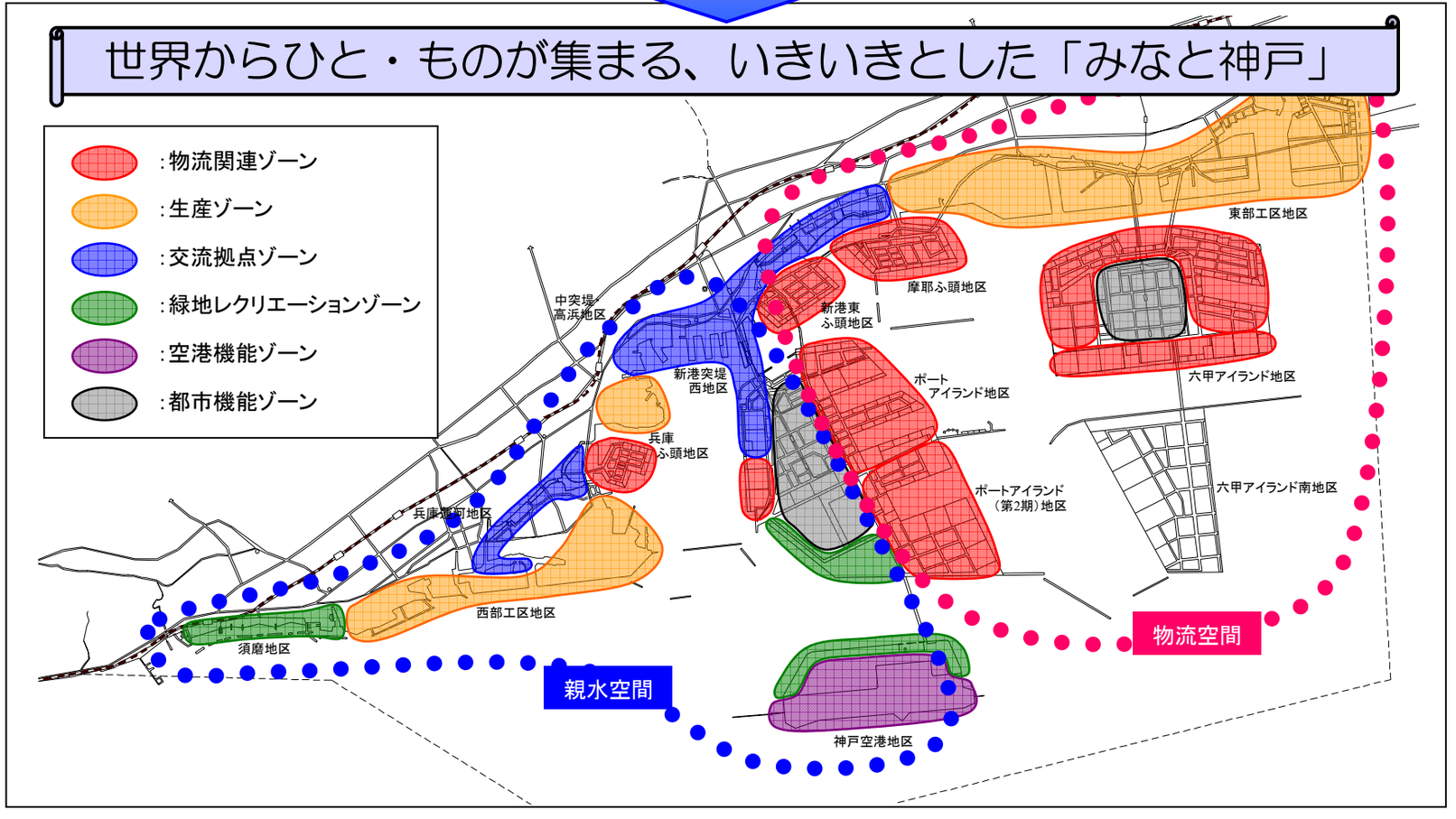
【交流】みなと神戸流のライフスタイルを求めて

【環境】人と環境にやさしいみなとづくり

【安全】みなとの安全・安心・信頼の確保

みんなでもりあげるみなと

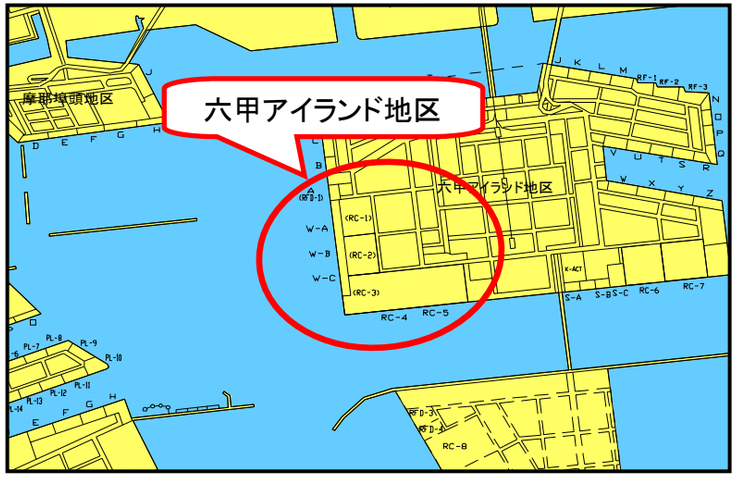
世界からひと・ものが集まる、いきいきとした「みなと神戸」



【物流】西日本のハブ港としての機能強化

【要請・背景】
◎コスト・スピード・サービスの向上
◎効率的・効果的なみなとの管理・運営
◎中古自動車、建設機械等新規貨物の獲得

【対応】
◎大型船の着岸に対応できるよう、
　岸壁延長を変更
◎既存岸壁を背後用地とともに有効活用



六甲アイランド地区

・コンテナバース→中古自動車、建設機械等対応バースへ変更
（RW-A、B、C
水深13m　岸壁3バース　延長780m）

・船舶の大型化に対応するため、コンテナバースの延長を変更
（3バース　→　2バース）
（RC-4、5　（コンテナ船用）
水深14m　岸壁2バース　延長880m）

【物流】西日本のハブ港としての機能強化

【要請・背景】
◎フェリー需要への対応

【対応】
◎モーダルシフトの観点から環境負荷の低減に
貢献するとともに、公共フェリー埠頭への位置付け

新港突堤西地区

・外貿埠頭からフェリー埠頭へ利用転換
（S-3L
水深6.5m　岸壁1バース　延長190m）

・旅客船埠頭からフェリー埠頭へ利用転換
（S-4P
水深10m　岸壁1バース　延長376m）

・旅客船埠頭からフェリー埠頭へ利用転換
（S-4O
水深12m　岸壁1バース　延長200m）

新港第3突堤

新港第4突堤

【交流】みなと神戸流のライフスタイルを求めて

【要請・背景】
◎市民や観光客が、みなとの風景に出会える空間の創出
◎地域や市民の愛着ある水面を活かした、まちの魅力アップ

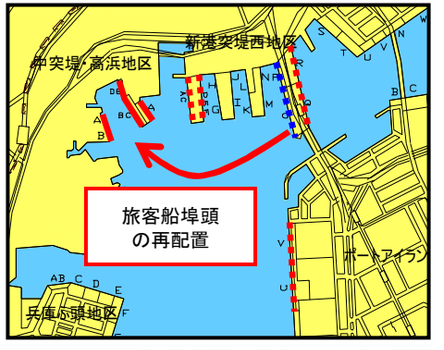
【対応】
◎客船や練習帆船を身近に感じることができるように、旅客船埠頭を再配置
◎運河を活用した親水空間の形成

兵庫運河地区

・回遊性の向上を図るため、兵庫運河沿いに連続的にプロムナードを整備
（緑地　1ha）

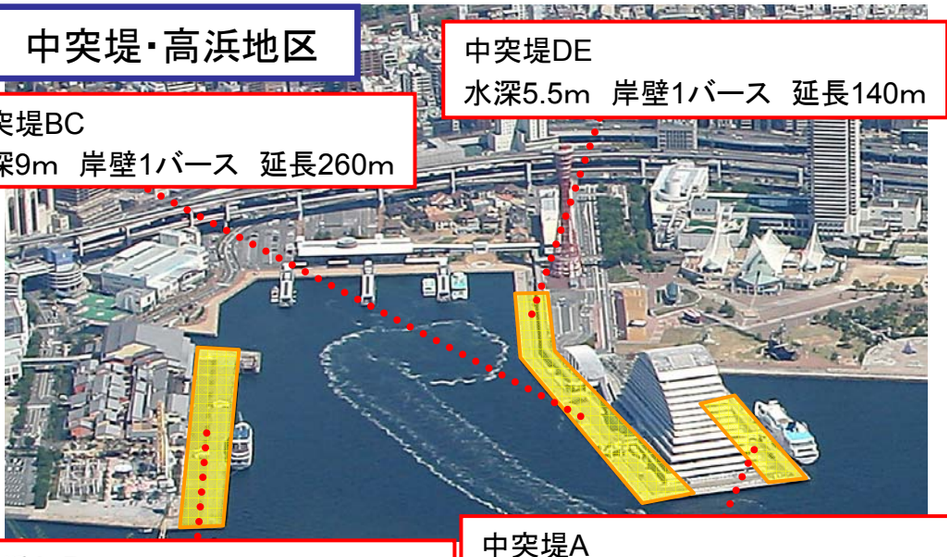
旅客船埠頭の再配置

・客船や練習帆船を身近に感じることができるように、旅客船埠頭を再配置（既存施設の利用転換）



既定計画
新規計画

中突堤・高浜地区



中突堤DE
水深5.5m　岸壁1バース　延長140m

中突堤BC
水深9m　岸壁1バース　延長260m

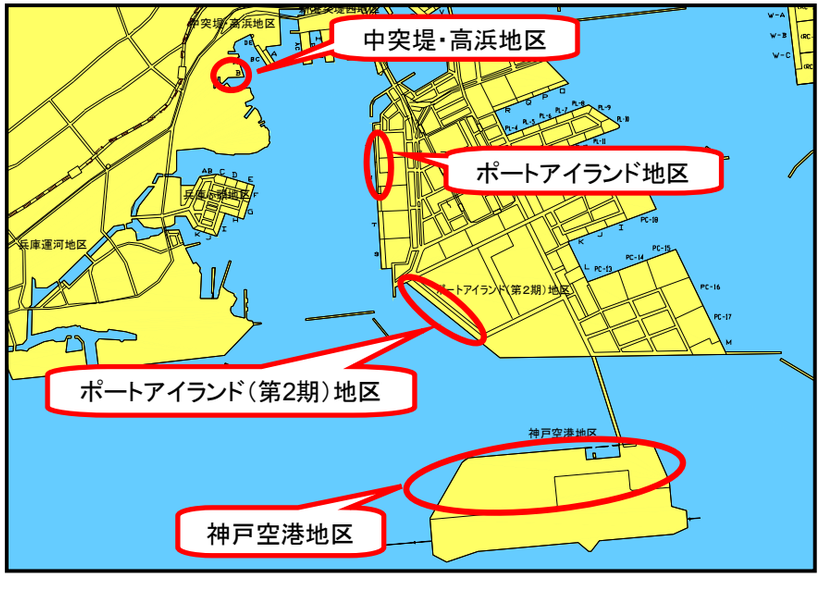
高浜A、B
水深5.5m　岸壁2バース　延長280m

中突堤A
水深6.5m　岸壁1バース　延長160m

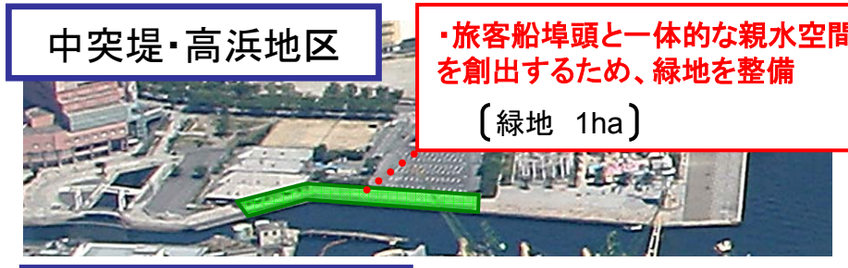
【環境】人と環境にやさしいみなとづくり

【要請・背景】
◎水辺の特性を活かした景観形成
◎親水空間の連続性の確保
◎港湾施設における積極的な環境創造

【対応】
◎緑地による快適な水際空間の創出
◎自然的環境を整備又は保全する区域を設定

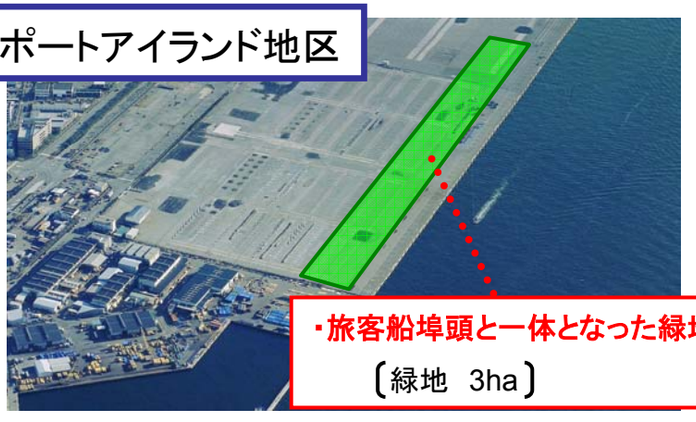


中突堤・高浜地区



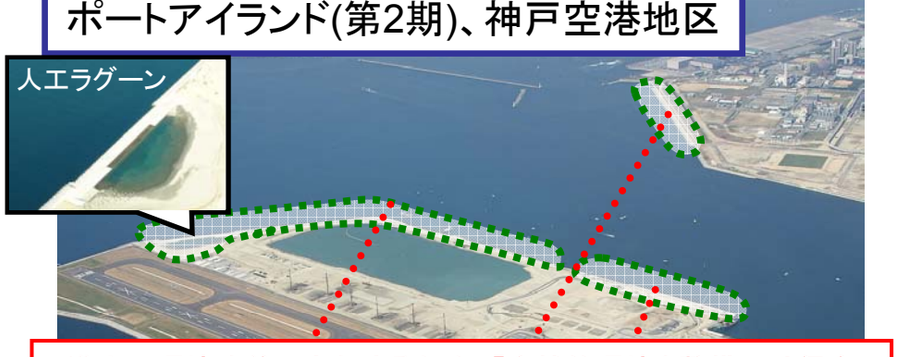
・旅客船埠頭と一体的な親水空間を創出するため、緑地を整備
（緑地　1ha）

ポートアイランド地区



・旅客船埠頭と一体となった緑地の整備
（緑地　3ha）

ポートアイランド(第2期)、神戸空港地区



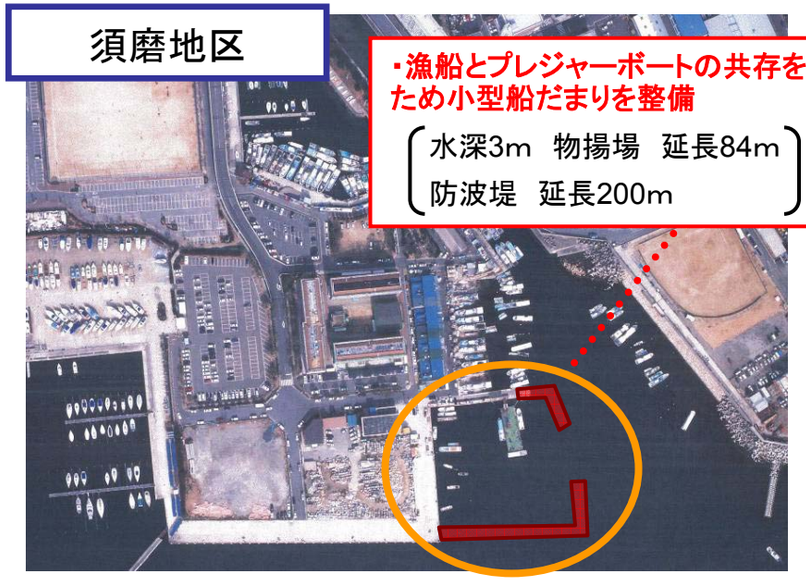
・港内の環境改善に寄与するため、「自然的環境を整備又は保全する区域」を設定。環境創造型護岸、人工ラグーンを整備中。

【安全】みなとの安全・安心・信頼の確保

【要請・背景】
◎漁船やプレジャーボートの係留・航行に関する安全性の確保

【対応】
◎漁船とプレジャーボートの共存を図るため小型船だまりを計画

須磨地区



・漁船とプレジャーボートの共存を図るため小型船だまりを整備
（水深3m　物揚場　延長84m
防波堤　延長200m）

【その他】利用形態の見直しの検討が必要な区域

【要請・背景】
◎市民や観光客が憩える「都心ウォータフロント」として再開発を検討

【対応】
◎新港突堤西地区において、利用形態の見直しの検討が必要な区域を設定

新港突堤西地区

・今後、再開発が検討されており、「利用形態の見直しの検討が必要な区域」を設定